



岩手県高等学校教職員組合 〒020-0883 盛岡市志家町11番13号 高校教育会館内  
TEL 019-624-5227 FAX 019-653-2285 E-mail:iwako@jtu-iwako.jp  
岩手高教組機関誌 発行/情宣部 印刷/杜陵プリント社

●「高卒求人票」の見直しについて ●2019年度県立学校時間外勤務の状況 ●時間外勤務の「上限ガイドライン」条例化へ向けて職場討議意見 ●教員採用試験第1次選考変更点 ●2020年度夏季各種集会中止・延期、縮小開催による参加とりやめ等 ●なぜ、組合が必要なの？① ●喜怒哀楽 ●クロスワードクイズ

## 「高卒求人票」の見直しについて

来春卒業予定の新規高卒者むけ求人受付が6月1日に始まり、県内10カ所の公共職業安定所の同日の求人数は、前年比23.7%減の716人（6月2日 岩手日報）ということです。新型コロナウイルス感染症の影響により、求人数が減少することが懸念される中での就職活動で、就職試験に挑む生徒たち、指導する就職担当の方にもいつもとはまた違う緊張感があるかと思えます。求人情報の学校・生徒への公開は7月1日、選考開始は例年より1カ月遅れの10月16日に変更されました。



6月18日 教育長に要請書を手交

さて、2020年1月に厚労省はハローワークのシステム的大幅な見直しを行い、2020年度から「新規高卒求人票」の記載事項を更新することとなりました。内容としては3枚にわたる求人票を2枚に整理するとして「賃金の手取額」はじめ就職希望先を決める際に重要となる項目が削除・削減されました。また、「応募前職場見学」が「選考」の項目に移動されるなどしています。2012年の改訂でも「応募前見学」が「選考」の項に移動されましたが、応募前見学が採用選考の条件であるとの誤解を高校生や、学校側に与えかねないという指摘から、「会社情報」の項に戻された経緯があります。

厚労省も文科省と連携を取らずに変更を決定してしまったと認め、熊本労働局などは、削除・削減された項目について高校生に情報提供するようにと、「高卒求人補助シート」の提出を事業主に要請しています。

また、厚労省が今年2月に公表した「高等学校就職問題検討会議ワーキングチーム報告書」には、これまで地域ごとに取り決めてきた原則「1人1社応募」について、「各都道府県に設置されている就職問題検討会議において、各地域や学校の特性等に応じて適切に決めていただくことが適当である」という考えが示されています。

しかし、地域の実情をふまえて取り決めてきた「1人1社応募」を学校の86.7%、企業の75.8%が支持していますので、大きく変更する必要はありません。

高教組は6月18日に教育長に、6月25日には岩手労働局へ要請書を手交します。高校生の進路保障の観点からとりくみをすすめます。